

平成 26 年度「全国学力・学習状況調査」における 田川小学校の結果の分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成 26 年 4 月 22 日（火）に、6 年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年の原則として全児童生徒
- ・田川小学校では、6年生 56名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 【国語 A・算数 A】	主として「活用」に関する問題 【国語 B・算数 B】
<ul style="list-style-type: none">・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	<ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

(2) 児童生徒質問紙調査

児童生徒質問紙調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査

平成26年度「全国学力・学習状況調査」検証シート

大阪市立田川小学校

児童数 56

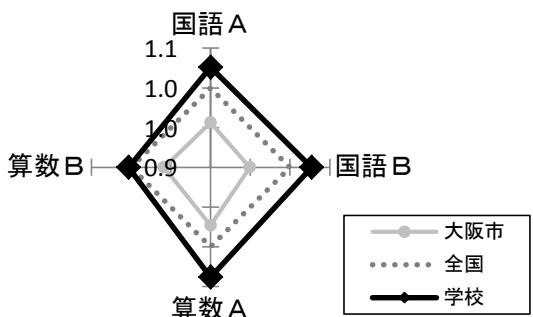
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	74.8	57.0	81.1	58.4
大阪市	69.7	52.7	76.0	55.8
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

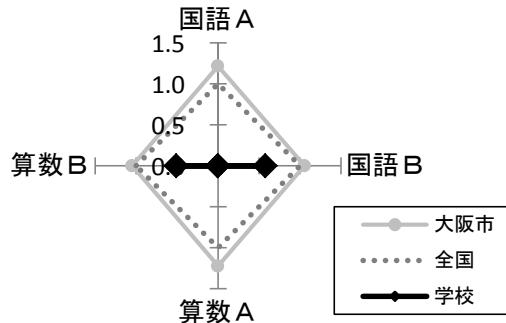
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	0.0	5.3	0.0	2.2
大阪市	2.8	9.7	1.1	4.5
全国	2.3	9.2	0.9	4.3

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



結果の概要

国語・算数ともに全国平均を上回っている。特に算数A(主として知識)は、全国平均よりも3ポイント、大阪市平均よりも5.1ポイント上回っている。
無回答率は低く、問題に取り組もうとする姿勢がうかがえる。国語B(主として活用)と算数B(主として活用)で、問題を解くことをあきらめてしまう無回答者に対する取り組みが必要である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

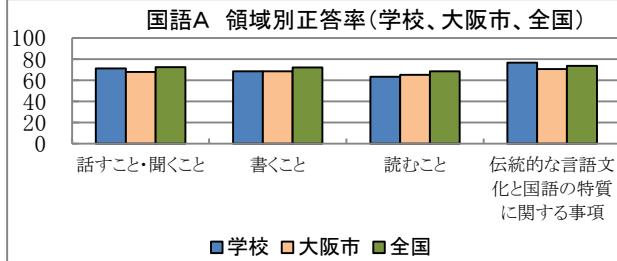
習熟度別少人数授業や放課後学習等で、正答率の低い層の学力向上に粘り強く取り組んできた成果が一定表れている。
既習事項を活用する力をつけていくために、授業時間中に児童が自ら考える活動を増やしていくとともに、家庭学習を充実させ、既習事項のさらなる定着を図るために、保護者と連携しながら取り組んでいく必要がある。

【国語】

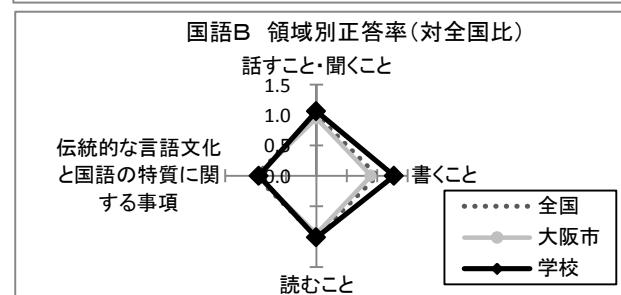
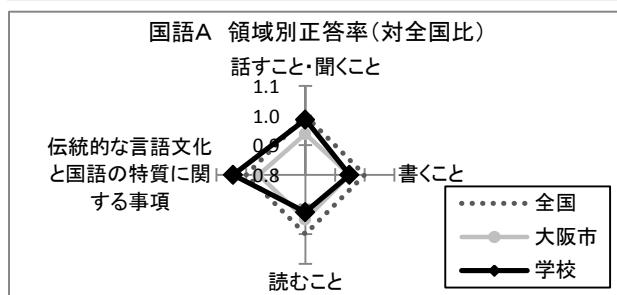
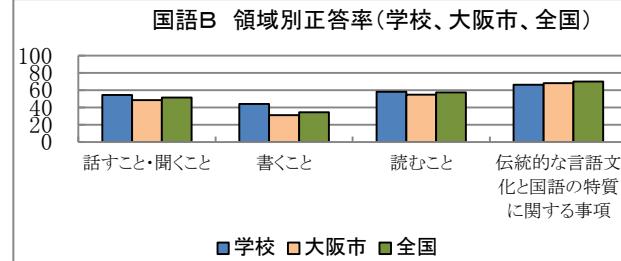
結果の概要

A問題の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、B問題の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」は、全国平均を上回っている。特に、B問題の「書くこと」に関しては、全国平均を大きく上回っている。A問題の「読むこと」、B問題の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、全国平均・大阪市平均を下回っている。

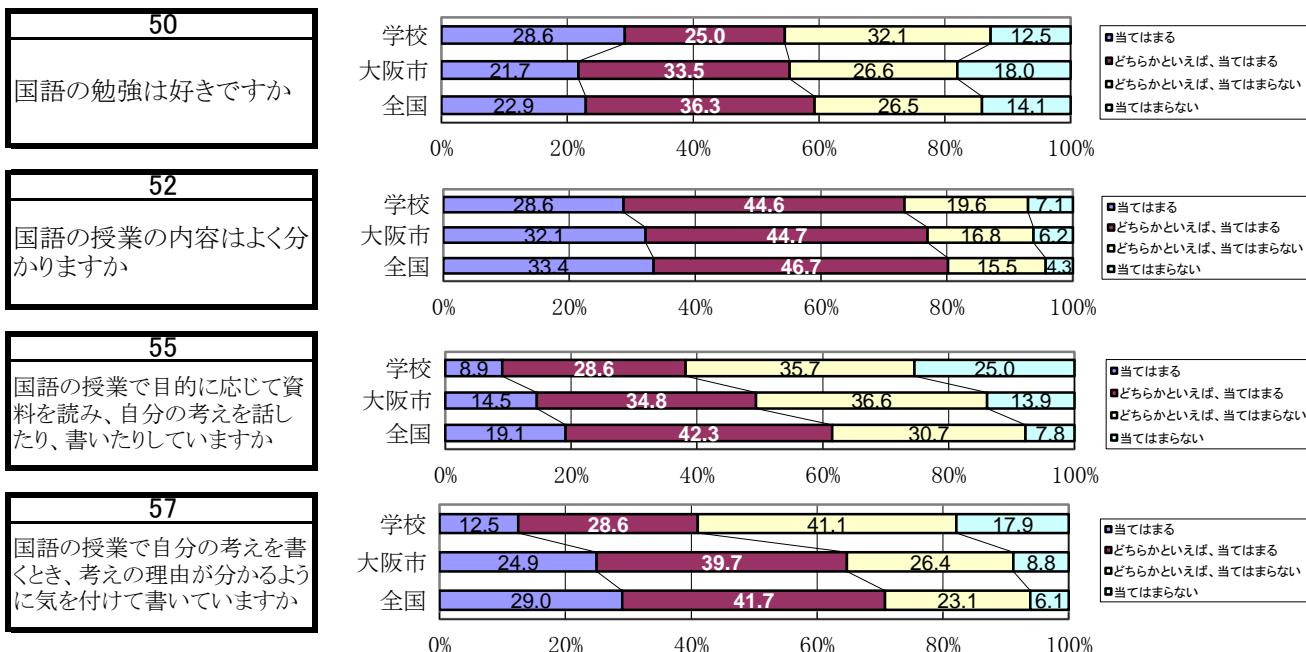
A 問 題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	71.4	67.9	72.4
	書くこと	3	68.5	68.5	72.2
	読むこと	2	63.4	65.1	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	12	76.9	70.6	73.7



B 問 題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	54.2	48.3	51.2
	書くこと	3	44.0	30.9	34.4
	読むこと	7	58.2	54.6	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	66.1	67.9	69.8



国語に関する「児童質問紙」



成績と課題

「書くこと」を中心に、習熟度別少人数授業に取り組んできた成果が表れているが、児童の意識は全国平均を大きく下回っている。国語の勉強は好き・よく分かると答えた児童は、昨年と同程度である。

今後の取組

情景描写の効果をとらえたり、物語の登場人物の相互関係をとらえたりすることが苦手な児童が多いため、図書館をこれまで以上に活用し、読書量を増やしていく。家庭学習や朝学習の取り組みにより、言語についての知識・理解は一定の成果が出てきたので、今後も継続して取り組んでいく。

【算数】

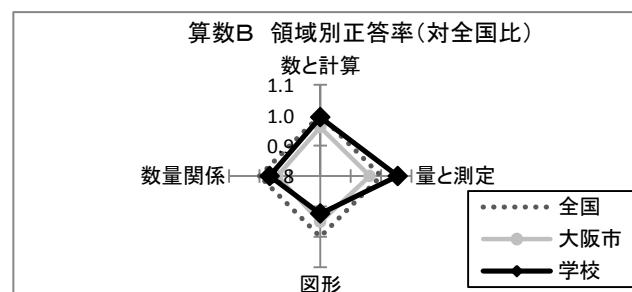
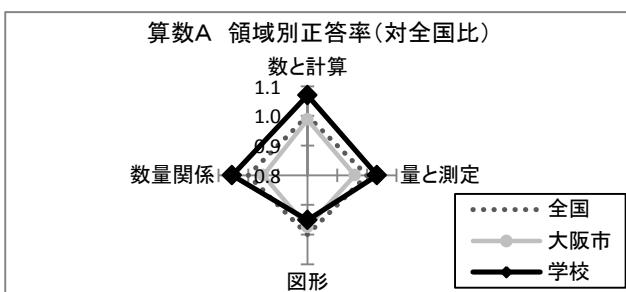
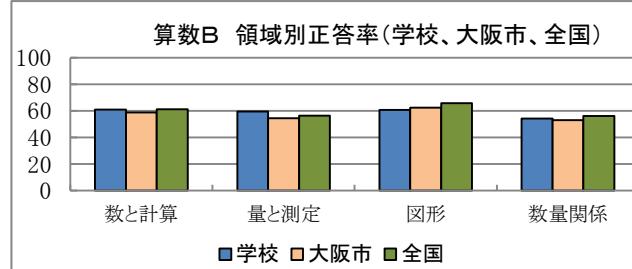
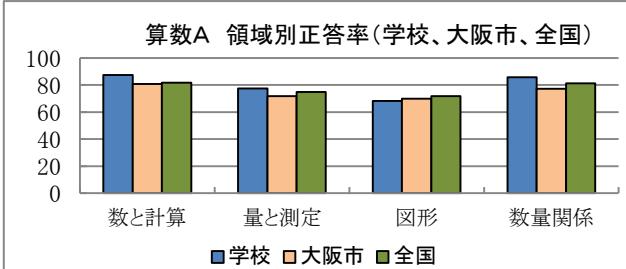
結果の概要

A問題(主として知識)の正答率が高い傾向にある。

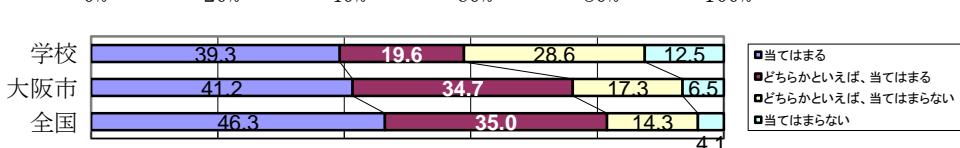
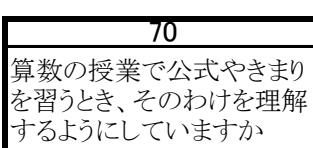
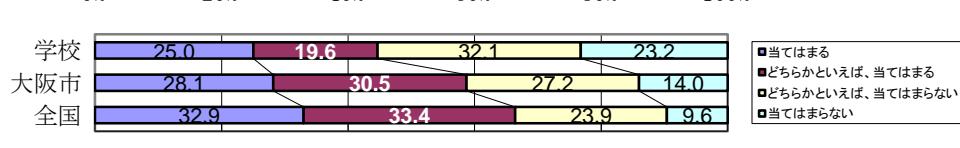
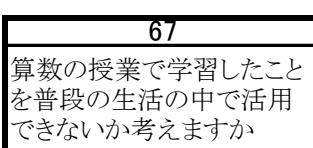
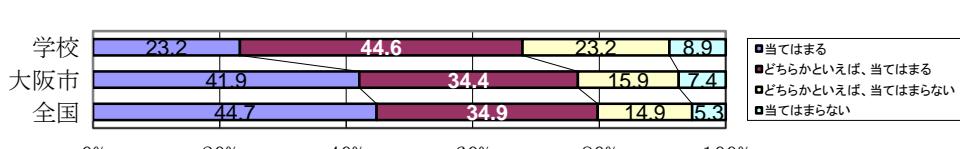
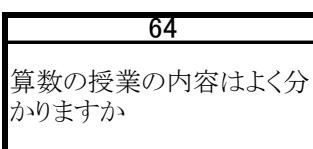
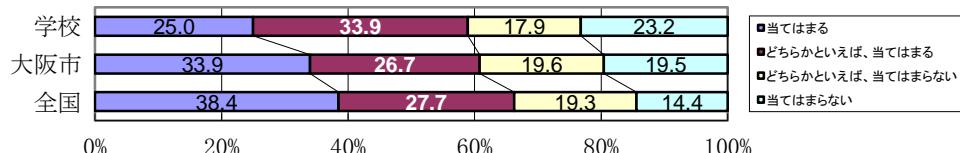
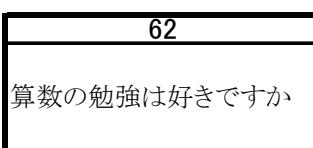
A問題・B問題ともに「図形」領域で全国平均・大阪市平均を下回っている。B問題では「領と測定」領域は全国平均を上回っているものの、それ以外の領域は全国平均を下回っている。

A 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	8	87.5	80.8
	量と測定	3	77.4	71.8
	図形	4	68.3	70.0
	数量関係	3	85.7	77.2

B 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	8	60.9	58.9
	量と測定	5	59.6	54.4
	図形	1	60.7	62.5
	数量関係	5	54.3	52.9



算数に関する「児童質問紙」



成果と課題
少人数習熟度別授業や放課後学習で、正答率の低い層の学力向上に粘り強く取り組んできた成果が「数と計算」「数量関係」の領域で顕著に表れている。しかし、「算数の勉強が好きです」、「授業の内容がよく分かります」と答えた児童は全国平均に比べ大きく下回っている。

今後の取組
図形の約束や性質をきちんと理解したうえで、作図の練習をさせる必要がある。少人数習熟度別授業や放課後学習など、正答率の低い層の児童に対する学力向上の取り組みは、今後も粘り強く取り組んでいく。

学びの充実に向けて(1)

結果の概要

読書が好きな児童は、全国平均とほぼ同レベルにある。

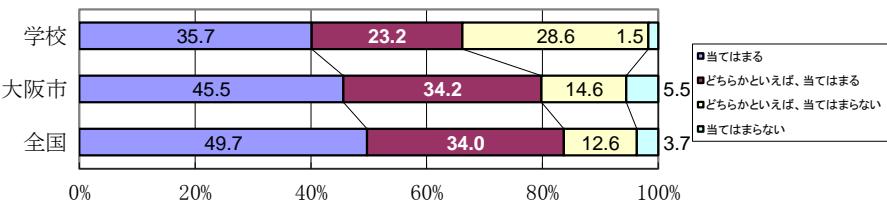
5年生までの授業で自分の考えを発表する機会が与えられていた感じる児童が、全国平均を大きく下回っている。また、友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると感じる児童が、全国平均を大きく下回っている。

質問番号

質問事項

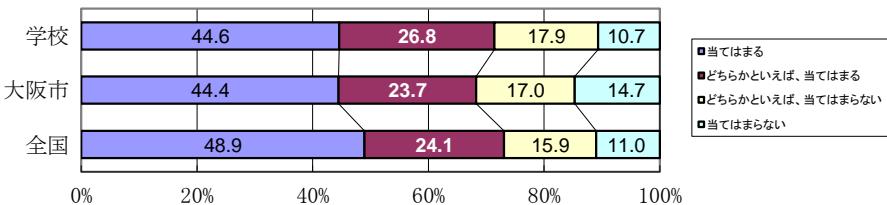
42

5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか



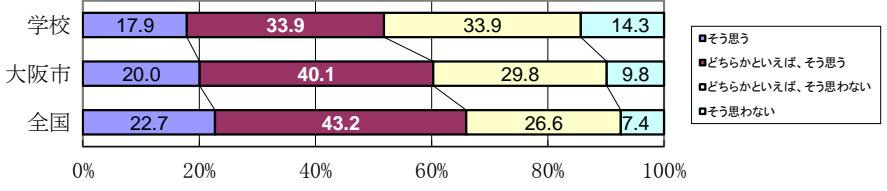
53

読書は好きですか



48

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



成果と課題

読書タイムや図書委員会による図書館開放、地域保護者による読み語りの活動を通して、読書が好きな児童が増えてきた。

今後の取組

各教科において、隣座席の友達と二人で話し合ったり、班で話し合ったりする機会をこれまで以上に意識して持つように取り組んでいく。

学びの充実に向けて(2)

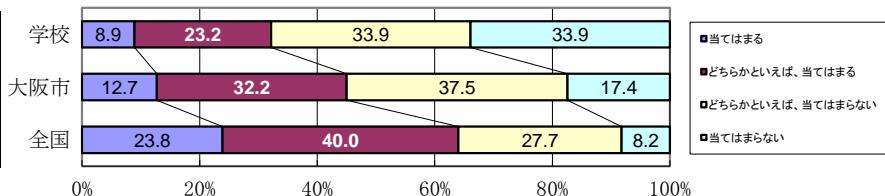
結果の概要

総合的な学習の時間において、探求の過程を意識した取り組みを行なったと答える児童は、全国平均を大きく下回った。

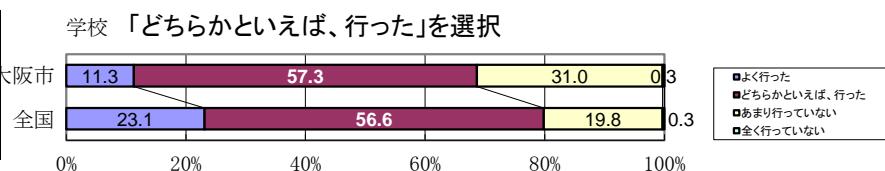
授業中、友達と話し合う活動をよく行ったと答える児童も、全国平均を大きく下回った。

質問番号	質問事項
------	------

40
「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



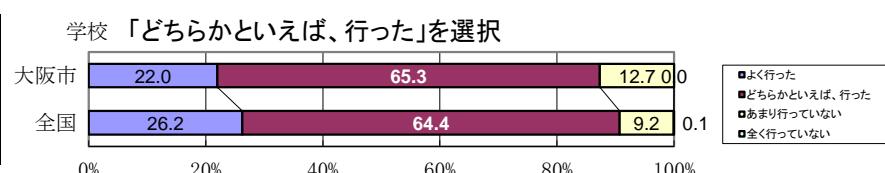
42【学校質問紙】
総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか



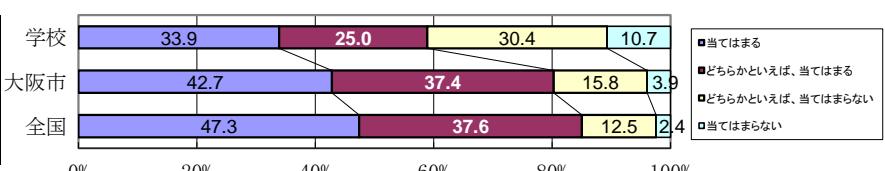
30【学校質問紙】
各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか



41【学校質問紙】
自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか



43
5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか



成果と課題

各教科において、自分の考えを書いたり、話し合ったりする等、多様な言語活動を取り入れた授業に取り組んでいますが、児童の意識としては低く、十分とは言えない。

今後の取組

隣座席の友達と二人で話し合ったり、班で話し合ったりする機会をこれまで以上に持つように、各教科で意識して取り組んでいく。総合的な学習の時間においては、これまで以上に児童が主体的に活動できるように、課題の選択肢を増やす等の工夫をしていく。

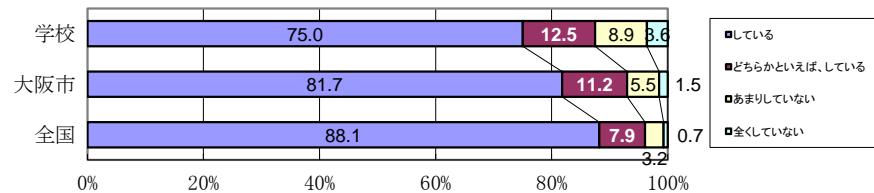
基本的生活習慣

結果の概要

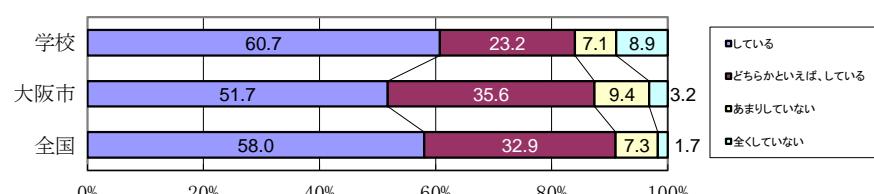
毎日きちんと朝食を食べている児童は、全国平均を下回っている。
 每日同じくらいの時刻にきちんと起きている児童は、全国平均を上回っているが、きちんと起きることがで
 きていない児童の数が多い。
 「携帯電話やスマートフォンの使用時間」や「テレビゲームをする時間」を、たくさんしていると答える児童
 が、全国平均を大きく上回っている。

質問番号	質問事項
------	------

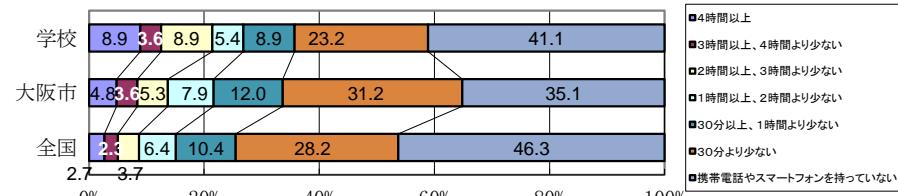
1
朝食を毎日食べていますか



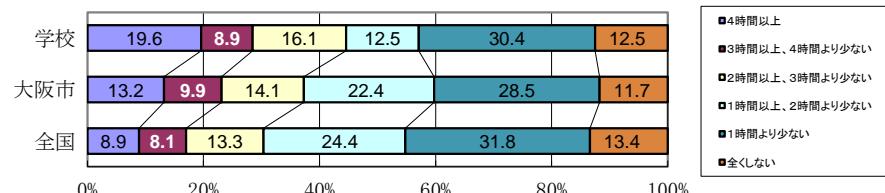
3
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



13
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(ゲームは除く)



12
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム等含む)をしますか



成果と課題

保健便りや学校便り、校長室便り、PTA活動の場で保護者に協力を呼びかけているが、規則正しい生活習慣が身についているとは言えない。

今後の取組

「早寝・早起き・朝ごはん」に関して学校で指導していくとともに、規則正しい生活ができるように今後も引き続き家庭への協力を呼びかけていく。
 「携帯電話やスマートフォンの使用時間」や「テレビゲームをする時間」が少ないほど平均正答率が高い傾向にあるため、児童に注意喚起とともに、ルールをきちんと決めて使うように今後も引き続き家庭への協力を呼びかけていく。

家庭学習

結果の概要

家で授業の復習をしていると答えた児童は、全国平均を大きく下回っている。

自分で計画を立てて勉強していると答えた児童は、全国平均を下回っている。

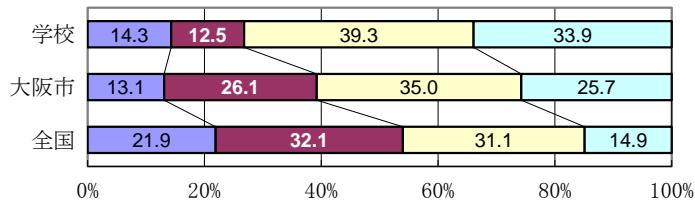
1日当たりの勉強時間は、全国平均に比べて短い傾向にある。

質問番号

質問事項

24

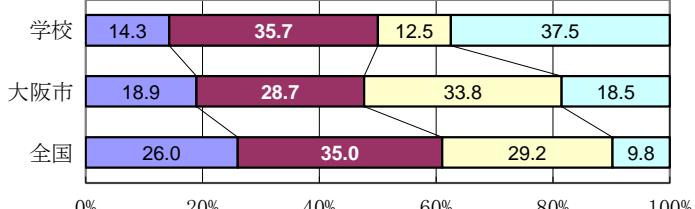
家で、学校の授業の復習をしていますか



- している
- どちらかといえば、している
- あまりしていない
- 全くしていない

21

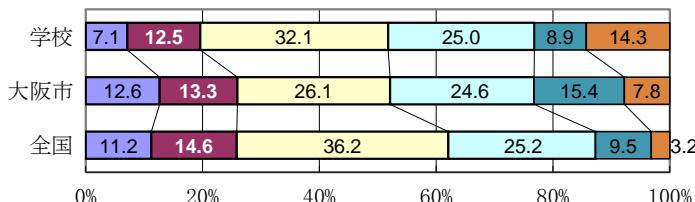
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



- している
- どちらかといえば、している
- あまりしていない
- 全くしていない

14

学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
(学習塾や家庭教師含む)



- 3時間以上
- 2時間以上、3時間より少ない
- 1時間以上、2時間より少ない
- 30分以上、1時間より少ない
- 30分より少ない
- 全くしない

成果と課題

算数や国語では、学習したことの復習内容を家庭学習として毎日行うようにしている。特に今年度は全学年が共通して「読むこと」「漢字」「計算」を家庭学習に取り入れるようにした。しかし、各教科において、自発的な復習を行っている児童はまだまだ少ない。

今後の取組

与えられた課題や家庭学習を最後までやり遂げるように学校での指導を継続していく。また、懇談会等を通じ、家庭学習に取り組んでいくように、家庭に協力を呼びかける。

自尊感情・規範意識

結果の概要

9割以上の児童が、ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがあると答えている。

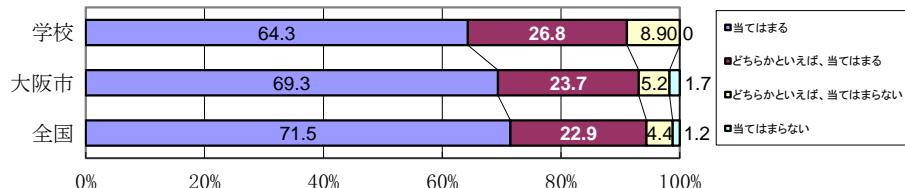
学校の決まりを守っていると答えた児童は、全国平均を大きく下回っている。

自分のよいところを先生は認めていると答えた児童は、全国平均を大きく下回っている。

昨年度よりは向上したものの、自分にはよいところがあると答えた児童は、全国平均を大きく下回っている。

質問番号	質問事項
------	------

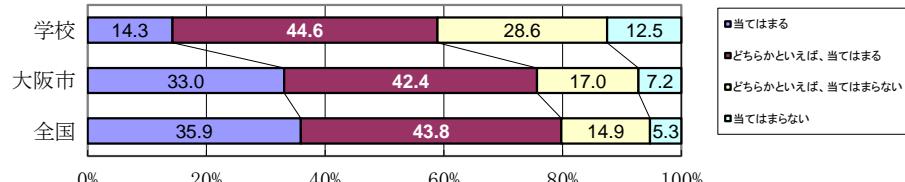
4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
---	-------------------------------



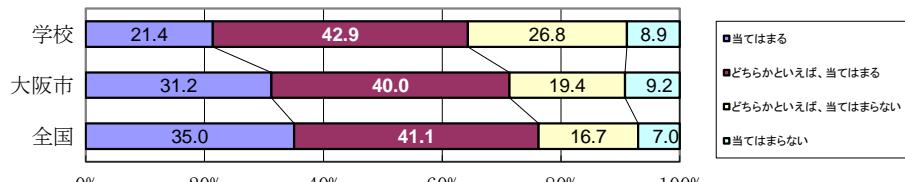
34	学校のきまりを守っていますか
----	----------------



28	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
----	------------------------------



6	自分には、よいところがあると思いますか
---	---------------------



成果と課題

全校児童朝会の場で自尊感情を高める取り組みをおこない、「〇〇名人」と銘打って、それぞれの児童の良いところが認められるように全校で取り組みを行った。

学校の決まりを守っていると答えた児童が全国平均を大きく下回っていることは、今後取り組んでいくべき喫緊の課題である。

今後の取組

全校児童の前で努力の成果を発表したり、特技を発表したりする機会をつくり、自尊感情を高める取り組みを引き続きおこなっていく。また、児童の委員会活動を中心に、全校児童が学校の決まりを守れるような取り組みをおこない、規範意識を高めていく。

学校・家庭・地域の連携

結果の概要

全国平均を上回る児童が、「家の人が学校の行事に参加する」「家の人と学校の出来事について話す」と答えている。

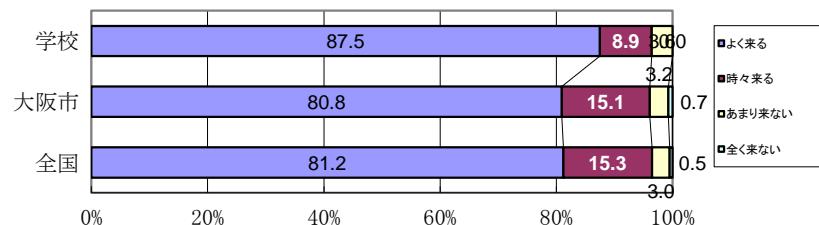
地域や社会への関心は、全国平均を下回っている。

質問番号

質問事項

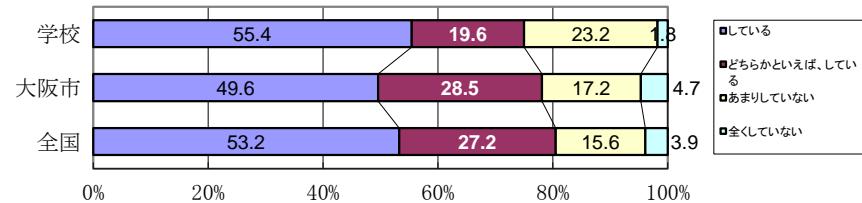
20

家人(兄弟姉妹除く)は授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか



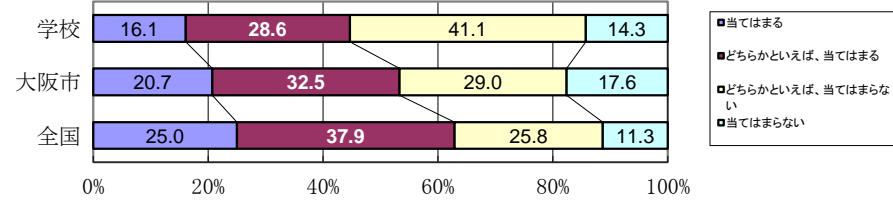
19

家人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか



30

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



成果と課題

学校行事やPTA行事への参加を手紙やメール、ホームページで呼びかけることにより、たくさんの保護者の方が学校に足を運んでいる。また今年度は土曜授業の取り組みの中で「水泳参観」「作品展参観」「避難訓練」「もちつき」など、学校と家庭・地域が連携できる取り組みをおこなっている。

今後の取組

地域行事に親子で参加できるように、学校から案内の手紙を出したり、学校・学級で児童に参加を呼びかけたりしていく。

学校組織の改善

結果の概要

学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる。
学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取り組んでいる。
前年度、授業研究を伴う校内研修を全学年で行った。

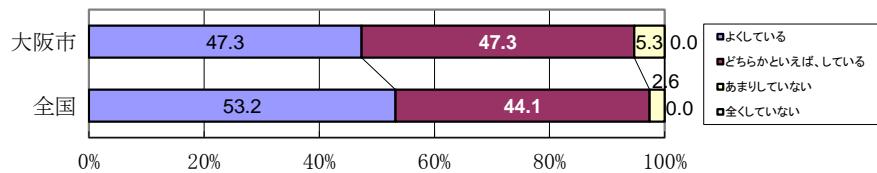
質問番号

質問事項

100【学校質問紙】

学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか

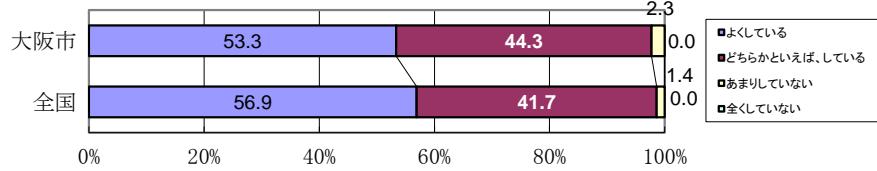
学校 「よくしている」を選択



98【学校質問紙】

学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか

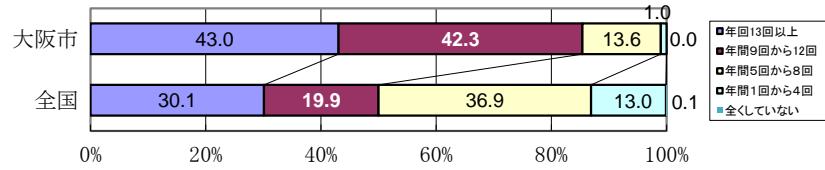
学校 「よくしている」を選択



91【学校質問紙】

授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

学校 「年間5回から8回」を選択



成果と課題

学校全体の課題や学級運営の課題を全教職員の間で共有し、組織的に取り組むことによって、児童が安心して過ごせる学校運営に取り組んでいる。

今後の取組

全ての教員が研究授業や公開授業、指導法の伝達講習の3つの中から必ず1つ行う。
児童個々の様子をより分かり合えるように、定例生活指導連絡会や臨時の報告会を継続してしていく。